

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 杉浦 芳一  
幹事 伊藤 節夫  
会報委員長 關 淳之

2014 ~ 2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2864回例会プログラム

[当年度=15回目; 当月=3週目]

2014年(平成26年)11月17日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………それこそロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 西三河分区インターシティミーティング(IM) PR  
……………高浜 RC

IM 実行委員長 あさおか のりたか 浅岡 憲隆 様  
IM 副実行委員長 すざうら よしなお 杉浦 義尚 様

9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(11/24) ……休 会 (法定休日)  
(12/1) ……  
新入会員アワー 加藤 貴紀 会員  
" 蓮見 昌孝 会員

## 2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話 「改革」~新しいロータリー財団  
講師 地区職業研修チーム委員会  
委員長 ふくだ てつぞう 福田 哲三 様  
(名古屋和合 RC)  
(紹介者 久米 博明 会員)

14. 謝 辞  
15. 点 鐘……〈会長〉  
16. 閉会宣言  
13:30 17. 散 会

## ビ ジ タ ー

森川 辰幸 様 (名古屋東山 R.C.)  
加藤 知成 様 (東知多 R.C.)  
寺部 暁 様 (安城 R.C.)  
浅岡 憲隆 様 (高浜 R.C.)  
杉浦 義尚 様 (高浜 R.C.)

## 出 席

会員総数 93名 出席免除 23名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名  
欠 席 14名 出席率 83.53%  
前々回 (10/27) の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) ロータリー財団より鈴木豊会員にポール・ハリス・ソサエティの認証状が届いています。



## 幹 事 報 告

- 1) 本日例会終了後、事務局にて第6回理事会を開催します。関係会員の出席をお願いします。  
2) 本日、名古屋栄ロータリークラブ共催の例会に出席の会員は16時38分の電車に乗って行きます。例会開始時刻は18時からです。

## 会長あいさつ

### 杉浦 芳一



今日は愛媛の松山城と湯築城のお話をさせていただきます。備中岡山の松山城と区別するため伊予松山城と呼んでいます。私の一番好きなお城です。

姫路城には規模はかないませんが21棟の重要文化財として天守閣・櫓が残っています。

1603年に加藤嘉明が20万石で築城して2代城主蒲生氏郷の孫蒲生忠知の時24万石になりましたが嗣子がなくて、1635年～明治まで松平一族が15万石で15代続きました。

現在残っている建物は明治維新の直前の1854年に建てられたものでわが国最後の完全な城郭建築としては一番新しく、築160年経っています。

坂の上の雲の秋山兄弟、小説坊ちゃんの活躍した舞台になった城であります。

湯築城は道後温泉のすぐ近くにあり、時代はすこし古く南北朝～戦国期の250年にわたって伊予国守護河野氏の居城でした。

お城は残っておりませんが、復元武家屋敷と土塁で当時の暮らしぶりが分かります。

## 西三河分区分ターシティミーティングPR (高浜 RC)



副実行委員長 杉浦 義尚 様、実行委員長 浅岡 憲隆 様

## クラブフォーラム

### 「改革」～新しいロータリー財団

#### 地区職業研修チーム委員会 委員長 福田 哲三 様



まずは2週間前の11月1日～3日に開催されました第2回「ワールドフード+ふれ愛フェスタ(WFF)」での皆様の多大なるご支援ご協力に対しまして第1回実行委員長、第2回実行副委員長としまして改めて深く感謝申し上げます。

さて本題ですが、R財団は4年前の「未来の夢計画」で大きな改革をスタートしました。以前よりも「より身

近な財団」を目指していますが、改革の最大のポイントは皆さんの寄付金(年次基金+恒久基金利息分)が3年後に地区活動資金(DDF)として50%が自分たちの事業に使えること、さらにその中のグローバル補助金については補助金と同額の資金がさらに支給されることです。この結果、最大75%が自らの活動資金(=補助金)として使えるようになりました。[地区補助金25%+グローバル補助金25%+WFからの補助25%=75%]

当財団委員会には「資金推進委員会」という寄付を推進する委員会があります。そしてまた、その寄付金を3年後に皆さんに自ら使っていただくことをお手伝いする「補助金委員会」があります。この資金推進委員会(寄付することを推進)と補助金委員会(寄付金を使った活動を推進)がR財団委員会の中核であります。皆さんの活動を支えるため、各委員会のメンバーは「縁の下の力持ち」として日々頑張っております。

その他、財団委員会には奨学生の派遣や財団学友をまとめる「奨学基金・学友・平和フェロシップ委員会」、ポリオ撲滅を推進する「ポリオ・プラス委員会」、さらに専門家を海外に派遣して現地の専門家たちに研修指導を行う「職業研修チーム委員会(VTT)」があります。当地区では4年連続してグローバル補助金を使ってアメリカ、オーストラリア、カナダそしてフィリピンにVTT医療研修チームを派遣しておりますが、世界でも4年連続は当地区だけです。昨年はフィリピンで実際に医療許可を取り付けて手術(腹腔鏡)も行いながら指導してきました。

各クラブでの地区補助金事業やグローバル補助金事業や上記のR財団事業を支えるのは皆さん一人一人の寄付金です。今後とも「Every Rotarian Every Year」でご協力お願い致します。ご清聴ありがとうございました。

## 第6回理事会

- I 会長挨拶 (会長)
- II 議題
  - 1. 12・1月のプログラム(案)について (クラブ奉仕委員長)  
(プログラム委員長)
  - 2. 新年例会並びに合同懇親会について (幹事)
  - 3. 新入会員について (幹事)
  - 4. 第15回そろばんフェスティバル後援について (職業奉仕委員長)
  - 5. RYLA セミナー参加について (青少年奉仕委員長)
  - 6. 次年度地区委員会委員推薦について (次年度幹事)
  - 7. 中部経済新聞社年賀広告について (幹事)
  - 8. その他
    - ・IM 実行委員会組織図(案)について
- III 会場監督の所見